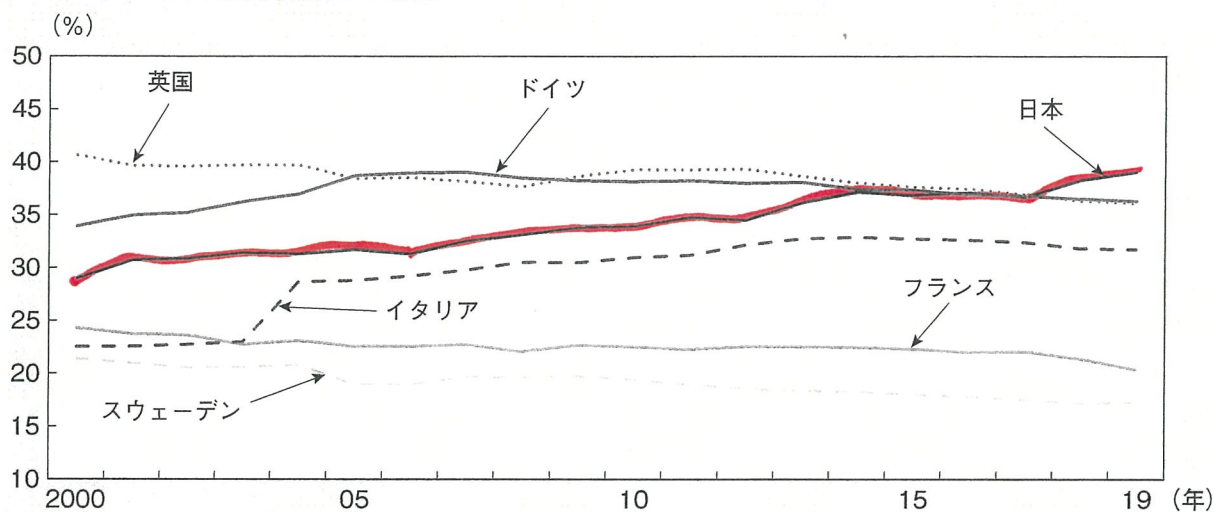


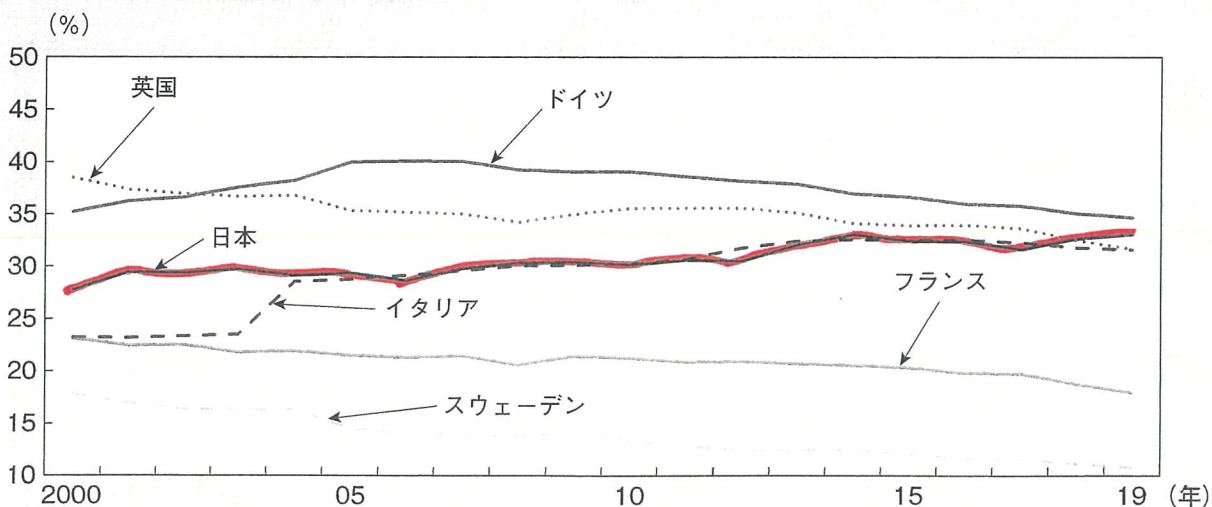
## 第3-1-2図 各国の女性のパートタイム労働者比率

我が国の25～54歳女性のパートタイム労働者比率は高め

## (1) パートタイム労働者比率の推移



## (2) パートタイム労働者比率の推移 (25～54歳)



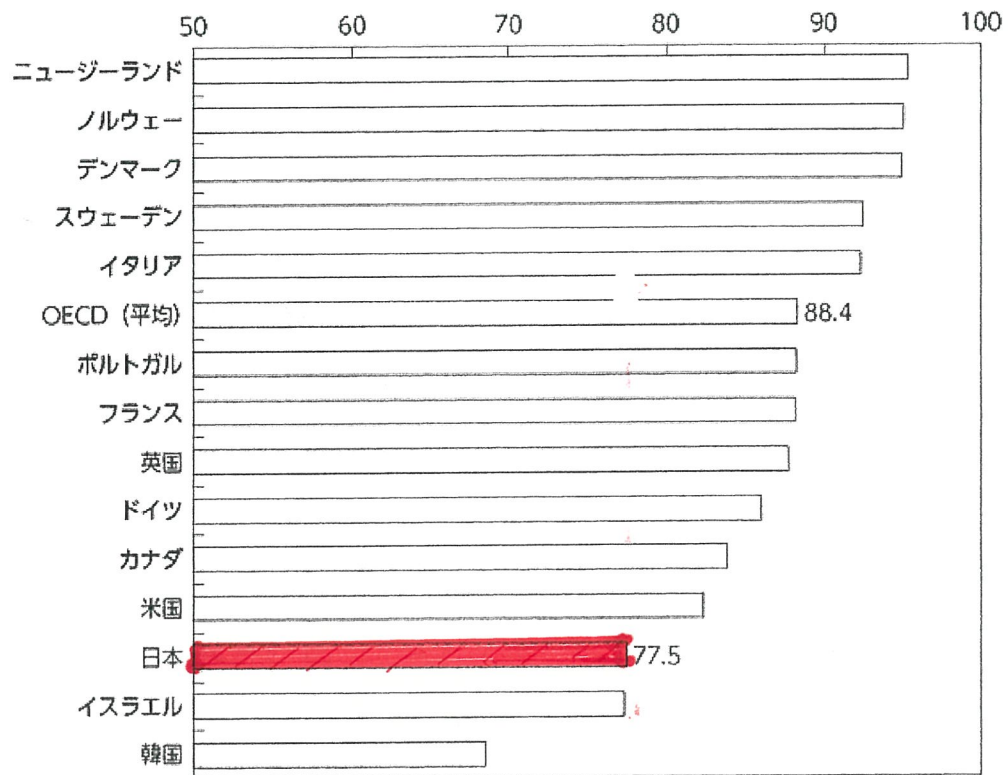
- (備考) 1. OECD. Statより作成。  
 2. フルタイムとパートタイムの線引きとしては、主に従事する業務の労働時間が週30時間未満の者をパートタイムと定義している。  
 3. パートタイム労働者比率は、パートタイム労働者数がフルタイム労働者数とパートタイム労働者数の合計に占める割合。

## 2-12図 男女間賃金格差の国際比較

本編 &gt; 1 &gt; I &gt; 第2分野 &gt; 第12図 男女間賃金格差の国際比較

2-12図 男女間賃金格差の国際比較

○男女間賃金格差を国際比較すると、男性のフルタイム労働者の賃金の中央値を100とした場合の女性のフルタイム労働者の賃金の中央値は、OECD諸国の平均値が88.4であるが、我が国は77.5であり、我が国の男女間賃金格差は国際的に見て大きい状況にあることが分かる。



(備考) 1. OECD "OECD, Stat" より作成。

2. ここでの男女間賃金格差とは、フルタイム労働者について男性賃金の中央値を100とした場合の女性賃金の中央値の水準を割合表示した数値。

3. イスラエル、フランスは平成30 (2018) 年、イタリア、デンマーク、ドイツは令和元 (2019) 年、それ以外の国は令和2 (2020) 年の数字。

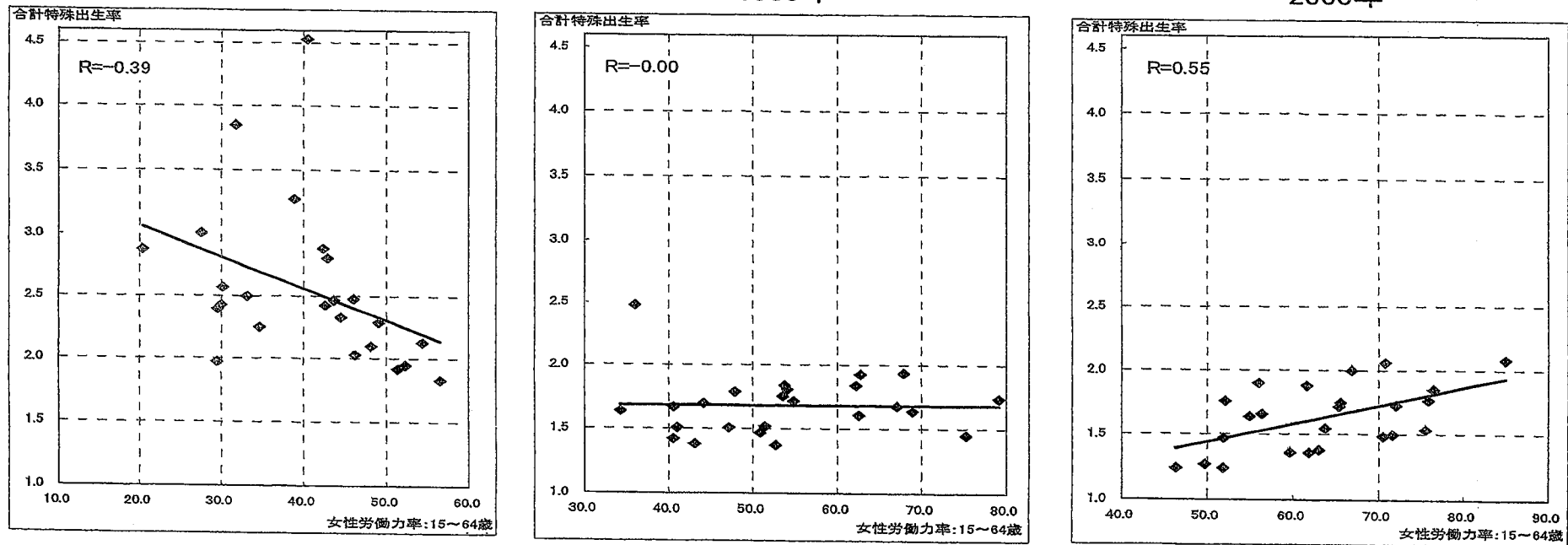
2024年5月17日 厚生労働委員会 立憲民主党 堤かなめ  
出典 内閣府「男女共同参画白書令和4年度版」

※赤色は堤事務所にて付記

資料 3

ただし、2000年のデータでは、OECD諸国において、女性労働力率の高い国ほど合計特殊出生率も高いという正の相関関係がみられるが、1970年には、出生率と女性労働力率は負の相関関係にあった。これが、80年代の半ばを境に関係が変化している（図表1-2-2）。

図表 1-2-2 合計特殊出生率と女性労働力率（15～64歳）：1970, 85, 2000年



(資料) Recent Demographic Developments in Europe 2004, 日本：人口動態統計, オーストラリア Births, No.3301, カナダ：Statistics Canada, 韓国：Annual report on the Vital Statistics, ニュージーランド：Demographic trends, U.S.：National Vital Statistics Report, ILO Year Book of Labour Statistics より作成。

(注) 女性労働力率：国により一部、調査年および対象年齢が異なる。詳細は、参考Ⅱ：指標項目出典/定義一覧参照。

①

Narrative Review: The FDA's Perfunctory Approach of Dietary Supplement Regulations Giving Rise to Copious Reports of Adverse Events

WeiQi Li , Albert Wertheimer

PMID: 38035313 PMCID: PMC10686678 DOI: 10.24926/iip.v14i1.4989

**Results:** Overall, between 2004 to 2021, a total of 79,071 adverse events related to the use of dietary supplements were reported to the Center for Food Safety and Applied Nutrition.

結果: 2004年から2021年の間に、栄養補助食品の使用に関連する合計7万9,071件の有害事象が食品安全応用栄養センターに報告された。

②

Dietary Supplements and Side Effects

Natural doesn't always mean safe, so check with your doctor before popping a pill

By Rachel Nania, AARP

a 2015 study, published in the New England Journal of Medicine, found that about 23,000 people wind up in the emergency room each year due to adverse events caused by dietary supplements. Reactions the researchers identified ranged from chest pain and heart palpitations to dizziness and vomiting, and adults 65 and older were more likely to be hospitalized because of them.

New England Journal of Medicine 誌に掲載された 2015 年の研究では、ダイエタリー・サプリメントによって引き起こされる有害事象により、毎年約2万3,000人が救急治療室に運ばれていることが判明した。研究者らが特定した反応は胸痛や動悸からめまいや嘔吐まで多岐にわたり、65歳以上の高齢者はそれらが原因で入院する可能性が高かった。

2024年5月17日 厚生労働委員会 立憲民主党 堤かなめ

出典①「*Innovations in Pharmacy*」2023年10月10日

②「*American Association of Retired Persons*」2022年6月16日

※日本語訳は堤事務所にて付記